

平成22年度 事務事業評価シート

部署名		こども福祉課		保育係		No	1		
施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)				
	1	安心して子どもを生み育てることができる環境づくり	2	仕事と子育ての両立支援	1	多様な保育サービスの充実			
事業名		保育事業推進事業							
予算費目	款	3	民生費	項	2	児童福祉費	目	1	児童福祉総務費
	細目	2	保育事業推進費	細々目	1	保育事業推進費	会計種別	一般会計	
事務区分(根拠法令)		自治事務 ()				予算種別	継続	経常	

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)		事業の内容(対象・目的・意図)		事業実施の手段・手順	
子育て世代が子育てと仕事を両立できるよう、保育サービスの充実を図るための事務事業を行う必要がある。		保育所への入所が必要な児童とその保護者が希望する保育園に入所できるよう事務を進めることで、子育て支援につなげる。		就労等で保育に欠ける児童とその保護者に対して、保育所入所による保育を実施する。	
活動指標			成果指標		
保育所定員(4/1)			延べ利用児童数		
目標値(単位)		実績値(単位)		成果指標の到達度(B/A)	
1,445		1,445		100	
目標値A(単位)		実績値B(単位)			
17,441		17,441		% %	

2 DO

歳出		予算現額(千円)	決算額(円)	歳入		予算現額(千円)	決算額(円)
支出内訳	需要費	294	184,004	財(源割内合訳)	国庫支出金 ()		
	役務費	3	690		県支出金 ()		
					地方債 ()		
					その他 ()		
			一般財源 ()		297	184,694	
合計		297	184,694	合計		297	184,694
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.9	5,652,000				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	A 目標どおり達成している

4 ACTION

課題	改善策
近年0歳~2歳児の入所希望者が増加している。	市内各保育園と定員の見直しの協議が必要である。

事業の方向性(一次評価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当

その他	
-----	--

平成22年度 事務事業評価シート

部署名		こども福祉課		保育係		No	2		
施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)				
	1	安心して子どもを生み育てることができる環境づくり	2	仕事と子育ての両立支援	1	多様な保育サービスの充実			
事業名	保育運営事業(公立)								
予算費目	款	3	民生費	項	1	児童福祉費	目	4	保育所費
	細目			細々目			会計種別	一般会計	
事務区分(根拠法令)		自治事務 ()				予算種別	継続	経常	

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)	事業の内容(対象・目的・意図)	事業実施の手段・手順
子育て世代が子育てと仕事を両立できるように、保育サービスの充実を図る必要がある。	保護者が就労等により家庭での保育に欠ける就学前の児童を対象とし、保護者の就労を支援するとともに、入所児童が安心、安全な保育所生活を送ることで、子育て支援を行う。	保育に欠ける児童を預かり、安全かつ健全な発達に結びつくように保育を行う。

活動指標		成果指標		成果指標の到達度(B/A)
保育所定員(公立)		年間延べ入所児童数(公立)		
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)	100 %
405 (人)	405 (人)	4219 (人)	4219 (人)	

2 DO

歳出		予算現額(千円)	決算額(円)	歳入		予算現額(千円)	決算額(円)
支出内訳	需要費	41,150	37,805,905	財(源割内合訳)	国庫支出金 ()		
	委託料	4,252	4,169,160		県支出金 ()		
	使用料及び賃借料	1,685	1,586,207		地方債 ()		
	備品購入費	2,161	2,159,440		その他 ()		
	その他	5,051	3,424,243		一般財源 ()	54,299	49,144,955
合計		54,299	49,144,955	合計		54,299	49,144,955

人件費概算	人工数(人役)	人件費(円)
	0.15	942,000

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	A 目標どおり達成している

4 ACTION

課題	改善策
乳児保育園の後の民営化の計画が進んでいない。	乳児保育園の民営化を検証し、今後の民営化の検討を行う。

事業の方向性(一次評価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当

その他	
-----	--

平成22年度 事務事業評価シート

部署名	こども福祉課	保育係	No	3
大項目(政策)	中項目(施策)	小項目(基本事業)		
1 安心して子どもを産み育てることができる環境づくり	2 仕事と子育ての両立支援	1	多様な保育サービスの充実	
事業名 保育運営事業(私立)				
款	3 民生費	項	1 児童福祉費	目
細目	1 児童福祉援護経費	細々目	1 児童福祉援護経費	会計種別
事務区分(根拠法令)		自治事務 ()		予算種別
				継続
				経常

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)	事業の内容(対象・目的・意図)	事業実施の手段・手順		
子育て世代が子育てと仕事を両立できるように、保育サービスの充実を図る必要がある	保護者が就労等により家庭での保育に欠ける就学前の児童を対象とし、保護者の就労を支援するとともに、入所児童が安心、安全な保育所生活を送ることで、子育て支援を行う。	私立保育所、市外保育所に対して委託経費を補助する。		
活動指標		成果指標		成果指標の到達度(B/A)
保育所定員(私立)		年間延べ入所児童数(私立)		
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)	100
1,040	1,040	13,221	13,221	
%				

2 DO

歳出		予算現額(千円)	決算額(円)	歳入		予算現額(千円)	決算額(円)	
支出内訳	委託料	982,666	968,801,800	財(源割内合訳)	国庫支出金 ()	322,802	316,223,930	
					県支出金 ()	161,401	158,111,965	
					地方債 ()			
					その他 ()	338,350	322,465,179	
			一般財源 ()		160,113	172,000,726		
合計		982,666	968,801,800	合計		982,666	968,801,800	
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)					
		0.35	2,198,000					

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	A 目標どおり達成している

4 ACTION

課題	改善策
少子化と言われて久しいが、保育入所児童数は、依然高い水準にある。	入所率の高い保育園について、定員増の協議をしていく。

事業の方向性(一次評価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当

その他	
-----	--

平成22年度 事務事業評価シート

部署名		こども福祉課		保育係		No	4		
施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)				
	1	安心して子どもを生み育てることができる環境づくり	2	仕事と子育ての両立支援	1	多様な保育サービスの充実			
事業名	延長保育等促進基盤整備事業								
予算費目	款	3	民生費	項	2	児童福祉費	目	2	児童措置費
	細目	1	児童福祉援護経費	細々目	1	児童福祉援護経費	会計種別	一般会計	
事務区分(根拠法令)		自治事務 ()			予算種別	継続	経常		

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)		事業の内容(対象・目的・意図)		事業実施の手段・手順	
保護者の就労時間の多様化に対応するため、開所時間を越えた保育を行い、安心して子育てできる環境を整備する必要がある。		勤務時間等のため11時間を超えて保育を必要とする保護者が、安心して子どもを保育園に預けて、仕事することができる環境を整えることで、子育て支援、就労支援につながる。		私立保育所の11時間の保育時間の開所時間の前後の時間において、さらに1時間又は30分の延長保育を行う保育所に対して補助を行う。 1時間延長 焼野、須恵、姫井、西福寺、真珠(5園) 30分延長 さくら、伸宏、石井手、貞源寺、貞源寺第二、あおい(6園)	
活動指標			成果指標		成果指標の到達度(B/A)
延長保育実施箇所数			延長保育利用者数		
目標値(単位)		実績値(単位)		94	
13		11		26,000 24,429	
%					

2 DO

歳出		予算現額(千円)	決算額(円)	歳入		予算現額(千円)	決算額(円)
支出内訳	負担金、補助及び交付金	59,400	59,400,000	財(源割内合訳)	国庫支出金 ()		
					県支出金 (2/3)	39,599	39,599,900
					地方債 ()		
					その他 ()		
合計		59,400	59,400,000	一般財源 (1/3)		19,801	19,800,100
				合計		59,400	59,400,000
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.1	628,000				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	A 目標どおり達成している

4 ACTION

課題	改善策
延長保育を1時間延長を行っている園と、30分延長を行っている園とがある。	延長時間について、近隣市町の実施状況も参考にして、検証を行う。

事業の方向性(一次評価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当

その他	
-----	--

平成22年度 事務事業評価シート

部署名	こども福祉課	保育係	No	5				
大項目(政策)	中項目(施策)		小項目(基本事業)					
1	安心して子どもを生き育てることができる環境づくり	2	仕事と子育ての両立支援	1	多様な保育サービスの充実			
事業名	一時預かり事業							
款	3	民生費	項	2	児童福祉費	目	2	児童措置費
細目	1	児童福祉援護経費	細々目	1	児童福祉援護経費	会計種別	一般会計	
事務区分(根拠法令)	自治事務 ()			予算種別	継続	経常		

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)	事業の内容(対象・目的・意図)	事業実施の手段・手順	
短時間の勤務や保護者の育児疲れの解消、通院等保育園を利用していない世帯の一時的な保育需要が高い。	一時的な保育を必要とする児童とその保護者が必要な時に保育園を利用することができることで、子育てしやすい環境を整える。	一時預かり事業を行う私立保育園に対し、補助を行う。 また、公立保育園でも2園が事業を行っている。	
活動指標		成果指標	
一時預かり実施箇所数		一時預かり利用者数	
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)
9	9	3,939	3,939
成果指標の到達度(B/A)			
100%			

2 DO

歳出		予算現額(千円)	決算額(円)	歳入		予算現額(千円)	決算額(円)
支出内訳	負担金、補助及び交付金	7,200	6,025,500	財(源割内合訳)	国庫支出金 (1/2)	4,992	3,411,900
					県支出金 ()		
					地方債 ()		
					その他 ()		
			一般財源 (1/2)		2,208	2,613,600	
合計		7,200	6,025,500	合計		7,200	6,025,500
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.1	628,000				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	A 目標どおり達成している

4 ACTION

課題	改善策
一時預かりの内容と実施している保育園に関する電話等での問い合わせは多いことから、制度の更なる周知が必要である。	子育てホームページ、市広報等で周知していく。

事業の方向性(一次評価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当

その他	
-----	--

平成22年度 事務事業評価シート

部署名		こども福祉課		保育係		No	6		
施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)				
	1	安心して子どもを生み育てることができる環境づくり	2	仕事と子育ての両立支援	1	多様な保育サービスの充実			
事業名	障害児保育事業								
予算費目	款	3	民生費	項	2	児童福祉費	目	2	児童措置費
	細目	1	児童福祉援護経費	細々目	1	児童福祉援護経費	会計種別	一般会計	
事務区分(根拠法令)		自治事務 ()			予算種別	継続	経常		

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)	事業の内容(対象・目的・意図)	事業実施の手段・手順	
障害を持つ児童の保護者が安心して就労することができるような保育環境の整備が必要。	障害をもつ児童とその保護者を対象として、当該児童が他の児童との集団生活を通して社会性を身につけることができることで、保護者の育児、就労支援につながる。	障害児を受け入れる私立保育園に対し、保育士配置などに対する補助を行う。公立保育園でも、受け入れを行う。	
活動指標		成果指標	
障害児保育実施箇所数		入所障害児数	
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)
9	9	29	29
			成果指標の到達度(B/A)
			100%

2 DO

歳出		予算現額(千円)	決算額(円)	歳入		予算現額(千円)	決算額(円)
支出内訳	負担金、補助及び交付金	6,065	6,064,920	財(源割内合訳)	国庫支出金 ()		
					県支出金 (1/2)	4,458	5,173,000
					地方債 ()		
					その他 ()		
			一般財源 ()		1,607	891,920	
合計		6,065	6,064,920	合計		6,065	6,064,920
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.1	628,000				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	A 目標どおり達成している

4 ACTION

課題	改善策
障害を持つ児童の入所者数は増加傾向にあることから、保育園への負担が増すことが予想される。	保健センター、なるみ園等との連携を強化して、障害児保育事業のサポートが必要である。

事業の方向性(一次評価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当

その他	
-----	--

平成22年度 事務事業評価シート

部署名	こども福祉課	保育係	No	7
-----	--------	-----	----	---

施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)				
	1	安心して子どもを生き育てることができる環境づくり	2	仕事と子育ての両立支援	1	多様な保育サービスの充実			
事業名	病児・病後児保育事業								
予算費目	款	3	民生費	項	2	児童福祉費	目	2	児童措置費
	細目	1	児童福祉援護経費	細々目	1	児童福祉援護経費(補助)	会計種別	一般会計	
事務区分(根拠法令)		自治事務 ()			予算種別	継続	経常		

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)	事業の内容(対象・目的・意図)	事業実施の手段・手順		
集団保育が困難な病児・病後児を一時的に預かることにより、保護者の子育てと就労の両立を支援するとともに児童の健全育成に寄与する。	0歳～小学校低学年の児童が対象で、集団保育が困難な病児・病後児を一時的に預かることにより、保護者の子育てと就労の両立を支援するとともに児童の健全育成に寄与する。	病児ケアハウス2箇所に委託し、保護者が勤務等の都合により家庭で保育を行うことが困難な病児・病後児を集団保育が困難な期間、一時的に預かる。 ・小野田病児ケアハウス(小野田市医師会) ・病児ケアハウスキッズあさひ(医療法人社団 あさひクリニック)		
活動指標		成果指標		
委託箇所数		利用者延数		成果指標の到達度(B/A)
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)	
2	2	600	663	110%

2 DO

歳出		予算現額(千円)	決算額(円)	歳入		予算現額(千円)	決算額(円)
支出内訳	委託料	11,950	11,861,000	財(源割内合訳)	国庫支出金(33%)	3,983	3,953,000
					県支出金(33%)	3,983	3,953,000
					地方債()		
					その他()		
			一般財源(33%)		3,984	3,955,000	
合計		11,950	11,861,000	合計		11,950	11,861,000

人件費概算	人工数(人役)	人件費(円)
	0.1	628,000

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	A 目標どおり達成している

4 ACTION

課題	改善策

事業の方向性(一次評価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当

その他	
-----	--

平成22年度 事務事業評価シート

部署名	こども福祉課	保育係	No	8
-----	--------	-----	----	---

施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)				
	1	安心して子どもを生き育てることができる環境づくり	2	仕事と子育ての両立支援	1	多様な保育サービスの充実			
事業名	子育て短期支援事業								
予算費目	款	3	民生費	項	2	児童福祉費	目	2	児童措置費
	細目	1	児童福祉援護経費	細々目	2	児童福祉援護経費(単独)	会計種別	一般会計	
事務区分(根拠法令)		自治事務 ()			予算種別	継続	経常		

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)	事業の内容(対象・目的・意図)	事業実施の手段・手順		
児童を養育している家庭の保護者が疾病、仕事その他の理由により、家庭における児童の養育が一時的に困難となった場合及び母子が夫の暴力により緊急一時的に保護を必要とする場合に、一定期間、養育・保護を行う。	0歳～18歳の児童とその家族が対象で児童を養育している家庭の保護者が疾病、仕事その他の事由により、家庭における児童の養育が一時的に困難となった場合及び母子が夫の暴力により緊急一時的に保護を必要とする場合に、一定期間、養育・保護を行う。	児童養護施設2箇所に委託し、保護者が家庭で保育を行うことが困難な児童及び一時的に保護を必要とする母子等を一定期間、養育・保護する ・短期入所生活援助(ショートステイ)事業 ・夜間養護(トワイライトステイ)事業		
活動指標		成果指標		成果指標の到達度(B/A)
委託施設数		利用者延数		
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)	216 %
2	2	18	39	

2 DO

歳出		予算現額(千円)	決算額(円)	歳入		予算現額(千円)	決算額(円)
支出内訳	委託料	215	214,500	財(源割内合訳)	国庫支出金(50%)	107	107,000
					県支出金()		
					地方債()		
					その他()		
合計	215	214,500	一般財源(50%)		108	107,500	
				合計	215	214,500	

人件費概算	人工数(人役)	人件費(円)
	0.05	314,000

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	A 目標どおり達成している

4 ACTION

課題	改善策

事業の方向性(一次評価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当

その他	
-----	--

平成22年度 事務事業評価シート

部署名		子ども福祉課		保育係		No	1		
施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)				
	1	安心して子どもを生み育てることができる環境づくり	2	仕事と子育ての両立支援	2	放課後児童対策の充実			
事業名 放課後児童対策事業									
予算費目	款	3	民生費	項	2	児童福祉費	目	6	児童クラブ費
	細目	1	児童クラブ運営費	細々目	1	児童クラブ運営費	会計種別	一般会計	
事務区分(根拠法令)		自治事務 ()				予算種別	継続	経常	

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)		事業の内容(対象・目的・意図)		事業実施の手段・手順	
保護者の就労等の理由により、放課後や長期休業期間に養育する者のいない小学生の居場所づくり、保護者の就労支援が必要。		小学1～3年生を養育している就労家庭の保護者とその児童を対象として、保育を行うことで、児童の健全育成と保護者の就労支援を推進する。		市内12小学校区において、児童館、小学校の空き教室を使用して、放課後児童クラブを開設。入所児童に対し、生活の場を提供し、保育を行う。運営は、社会福祉協議会に委託している。平日は放課後から午後5時まで。(1時間の延長保育あり。) 土曜日、長期休業期間は、午前8時30分から午後5時まで。(1時間の延長保育あり。)	
活動指標			成果指標		
児童クラブ実施箇所数			児童クラブ利用者数(H22年4月1日現在)		
目標値(単位)		実績値(単位)		成果指標の到達度(B/A)	
12	12	580	558	96%	

2 DO

歳出		予算現額(千円)	決算額(円)	歳入		予算現額(千円)	決算額(円)
支出内訳	委託料	49,052	49,052,000	財(源割内訳)	国庫支出金 ()		
					県支出金 (2/3)	23,167	23,664,000
					地方債 ()		
					その他 ()	14,940	13,979,810
			一般財源 ()		10,945	11,408,190	
合計		49,052	49,052,000	合計		49,052	49,052,000
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.5	3,140,000				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	A 目標どおり達成している

4 ACTION

課題	改善策
一部の児童クラブにおいて、待機児童が生じており、年々減少傾向にあるものの、早期の解消が必要。	施設整備等により、受け入れ児童の拡充に努める。

事業の方向性(一次評価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当

その他	
-----	--

平成22年度 事務事業評価シート

部署名		社会教育課		生涯学習係		No	1		
施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)				
	1	安心して子どもを生み育てることができる環境づくり	2	仕事と子育ての両立支援	2	放課後児童対策の充実			
事業名	放課後子ども教室推進事業								
予算費目	款	10	教育費	項	5	社会教育費	目	1	社会教育総務費
	細目	1	社会教育管理業務	細々目	1	社会教育一般管理費	会計種別	一般会計	
事務区分(根拠法令)		自治事務 ()			予算種別	継続	臨時		

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)	事業の内容(対象・目的・意図)	事業実施の手段・手順		
子どもを取り巻く環境の変化、家庭や地域の子育て機能・教育力の低下が指摘される中、放課後等の子どもたちの安全で健やかな活動場所の確保が必要となっている。	次世代を担う子どもたちの健全育成を図るため放課後等に子どもたちが安心して活動できる場所が確保する。	放課後や週末等に学校体育館、公民館を利用して、地域の様々な資質を有する多くの市民の参画により、体験・交流・学習活動の場として放課後子ども教室を開催する。		
活動指標		成果指標		
実施回数		児童数に対する参加者の割合		成果指標の到達度(B/A)
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)	
46(回)	438(回)	10(%)	13(%)	130%

2 DO

歳出		予算現額(千円)	決算額(円)	歳入		予算現額(千円)	決算額(円)
支出内訳	報償費	1,122	937,700	財(源割内合訳)	国庫支出金 (1/3)	778	702,000
	需用費	200	155,363		県支出金 (1/3)	778	702,000
	役務費	177	176,880		地方債 ()		
	備品購入費	120	119,800		その他 ()		
	委託料	717	716,500		一般財源 ()	780	702,243
合計		2,336	2,106,243	合計		2,336	2,106,243

人件費概算	人工数(人役)	人件費(円)
	0.5	3,140,000

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	A 目標どおり達成している

4 ACTION

課題	改善策
地域の子どもは地域で育てる意識の醸成のため、事業の趣旨を地域の方にもっと知ってもらい、安全管理員として実際に参加してもらえるようにする必要がある。	各地区の運営委員会において事業説明等を行い参加者を広める努力をする。

事業の方向性(一次評価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当

その他	
-----	--

平成22年度 事務事業評価シート

部署名		子ども福祉課		子ども家庭係		No	1		
施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)				
	1	安心して子どもを生き育てることができる環境づくり	2	仕事と子育ての両立支援	3	児童福祉施設の充実			
事業名	児童遊園施設整備事業								
予算費目	款	3	民生費	項	2	児童福祉費	目	1	児童福祉総務費
	細目	4	児童遊園関連経費	細々目	1	児童遊園関連経費	会計種別	一般会計	
事務区分(根拠法令)		自治事務 ()			予算種別	継続	経常		

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)		事業の内容(対象・目的・意図)		事業実施の手段・手順	
地域における保育サービスの充実を図る基盤づくりを推進するため、児童遊園地施設整備を行うとともに、自治会管理の児童遊園施設整備に対して、補助を行う。		0~18歳の児童児童遊園地施設整備を実施又は補助することにより、地域における保育サービスの充実を図る基盤づくりを推進する。		児童遊園施設整備	
活動指標			成果指標		成果指標の到達度(B/A)
児童遊園施設整備(補助)実施箇所数			児童遊園施設整備(補助)実施箇所数		
目標値(単位)		実績値(単位)		100	
2		2		2	
%					

2 DO

歳出		予算現額(千円)	決算額(円)	歳入		予算現額(千円)	決算額(円)
支出内訳	需用費	66	12,426	財(源割内合訳)	国庫支出金 ()		
	役務費	74	73,370		県支出金 ()		
	負担金補助及び交付金	300	92,080		地方債 ()		
					その他 ()		
			一般財源 (100%)		440	177,876	
合計		440	177,876	合計		440	177,876
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.1	628,000				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	A 目標どおり達成している

4 ACTION

課題	改善策

事業の方向性(一次評価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当

その他	
-----	--